

アルプスアルパイン株式会社

# インフラ点検用に最適化された自動追尾飛行・撮影 UAV システム

UAV を利用したインフラ点検システムの開発を行います。現行システムを改善し、さらなる高度化により、他のインフラ点検への応用・適用を可能とします。その実用化により、点検サービス事業の拡大を目指します。

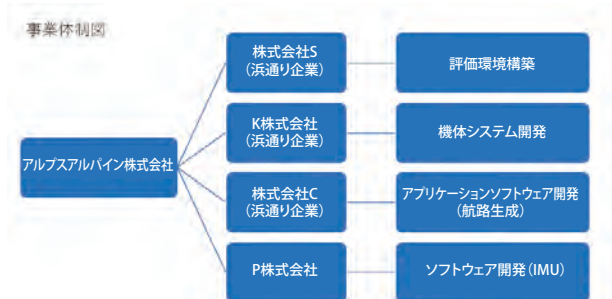


パワーアンドモビリティプロジェクト  
 保木 文秋

**開発背景** 従来のインフラ点検システムに対し、電力線、鉄塔や設備、鉄道・通信事業者の設備などの点検対象多様化のニーズや、さらなる点検の自動化で向上する安全性、効率性へのニーズがあります。

実用化時期	令和4年度（2022年度）
販売製品・サービス名	・機体システム、構成モジュールの販売、メンテナンス ・機体システムを利用した点検
成果物（最終年度）	補助事業成果である機体システムの構成モジュールについて、2022年度の市場投入を目指します。
創出される経済効果	浜通りの点検事業者へのシステム導入により高所作業での危険を低減、点検作業への要求スキルの緩和で、地元雇用の拡大を図ります。

開発のポイント	要素技術	・インフラ点検に最適化したセンシング技術や制御技術 ・点検者の負荷、人的エラーの削減を目指す自動化手法、及び地上基地ソフトウェアへの実装
	開発のポイント	インフラ点検に最適化したセンシング技術や制御技術を開発し、より高度な点検を可能にする機体システムの開発を行います。



## 浜通り復興に向けたメッセージ

本事業により、インフラ点検業務の省人化に寄与、少子高齢化問題の解決を図ります。浜通りの企業と連携し、浜通りの発展に貢献して参ります。

浜通り地域への経済波及効果	雇用数	実績	20名（うち、地元雇用者20名）
		今後の予定	10名（うち、地元雇用者10名）
地元企業との連携	拠点立地件数（立地場所）	-	
	R&D・開発	UAVシステムの機体、ソフトウェア開発を浜通り企業4社に委託	
	資材調達	試作にあたり、部品の調達を浜通りに立地する地元企業2社から実施	
	製造	機体部品の試作を浜通りに立地する地元企業2社にて実施	
	販路開拓	-	

これまでに得られた成果	成果品・試作品	2016-18年度の補助事業の成果となる点検用 UAV システムに対して、点検対象拡大等を実施した機体システム
	知的財産権	-
	開発技術	・被対象物追尾飛行・撮影機能（自律飛行） ・自動航行最適ルート設定（自動飛行） ・障害物対応（高度障害物検出・回避）
	自治体との連携実績	-
	代表的な企業との連携実績	2019年、電力会社との共同プレスリリースを実施、UAVシステムの市場導入を実施
	メディア露出や受賞歴	2020年、CEATECを始めとする展示会へ出展

**連絡先**

アルプスアルパイン株式会社 |  
 福島県いわき市好間工業団地20-1  
 ☎ 03-5499-8001 (担当: サステナビリティ推進室 広報課)  
 ✉ alpalspine-hp@alpalspine.com

投資規模	5~10億円	開発人数	10~29名
販売時期	令和4年度（2022年度）		
販売形態	モジュール、機体システムの販売や UAV 向けソフトウェアサービスの提供		
販売見込先	3社		
協業希望先	電力会社などインフラサービス企業、UAV 機体メーカー		